

第14回講座

ボランティアについて



2018パークレンジャー養成基礎研修

2018/11/4

NPO法人日本パークレンジャー協会

1. ボランティアとは

- Volunteerとは： 志願兵 義勇兵 篤志家

自発的に働き活動する人 のこと

中世の騎士団や十字軍など宗教的な団体の活動に起源

- 語源はラテン語の 自由意志 「voluntas」

「種をまかないのに自生してきた植物」の意味もある



ボランティアとは自立(自律)した人

2. ボランティア活動の四つの原則

1) 自ら進んで行動する……

自主性・主体性

* 自己責任で他者から強制されない

2) ともに支え合い学びあう……

社会性・連帯性

* 自分の役割を果たし互いに支える

3) 見返りを求めない……

無償性・無給性

* お金や名誉、地位は求めない

4) より良い社会を造る……

創造性・開拓性・先駆性

* 自ら課題の解決策を考え実践して行く

3. ボランティアの必要性

1) 今の社会システムの限界

現代のように多様化した社会では、様々な課題に対して行政や企業の活動など、今までの社会システムでは対応しきれない

環境問題:自然の破壊や災害/種の絶滅、社会:高度情報/格差/非正規/自国優先、人間関係:いじめ/虐待/孤立死…)

2) ボランティアは社会の担い手

多様化した社会には、自由な発想に基づく様々な分野のボランティアが社会を支える

3) 高齢化社会と生きがいや自己実現の場

*これまでの経験を生かして社会に貢献する場

*活動する楽しさ、人とふれあう喜び、自己実現、生き甲斐

*上下関係や肩書きの無い自由な人間関係

4. ボランティアは誰のためにやる？

- 一般的意識としてのボランティアとは

「困っている人を助けてあげる人」のイメージがあるが...

人は何かをしてあげると言うよりは、自分が何かをして人が喜んでくれていると思う時に満足感を得る

「ありがとうの言葉」、「自分が生かされ人とつながっていると感じる」

「自分をやる気にさせてくれる」、「相手からパワーをもらったと感じる」...

- ボランティアは自分のためにする

ボランティアは助けるつもりが助けられている

楽しいからやる / 自らの成長や生きがいにつながっている

好きで楽しいから続けられる → その結果が世の中の役に立つ

5. ボランティアの責任

- **ボランティアは自由意思の活動だが社会的責任がある**

約束や時間を守る、自分の役割を果たす、自立(自律)する...

- **ボランティアでも事故や怪我が起これば過失責任が問われることがある**

野外活動では。

- ①危険の予知をする(下見で不安全を調べる)
- ②危険を取り除く(安全対策をする)
- ③安全行動への注意と監督をする

- **コンプライアンス:ルールを守って行動する(活動中は公人)**

活動理念の理解/個人情報守秘/安全の優先など

6. さいごに

ボランティア活動は、自己責任で自由な意思に基づいてやるものですが、一人だけでは何もできません

年齢・性別・職業の差を越えてお互いにつながり
学び合い・教え合ってレベルアップを図りながら
皆が役割を果たし協力することが大切です

ボランティアは 楽しく 気長にやるのが コツです